

ハンディキャップ委員会活動へのご協力お礼とお願い

2020年8月 吉日

障がいを持つ方々のスキーをはじめとするウィンタースポーツを支援してゆく目的のために発足したハンディキャップ（以下HC）委員会は21年目を迎えます。昨年度も数多くのボランティアの方々をはじめ、関係組織の方々のご協力をいただき、①HCセミナーⅠ（横浜）、Ⅱ（五竜）②障がいをもつ人のためのスキー教室（1月五竜）を開催致しました。③（3月車山）[②③の2行事はスポーツ振興くじ（toto）助成事業]④鹿沢チャレンジカップスキー大会（4月）の行事開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染影響により残念ながら中止となりました。

支援活動をより良くするために開催した11月のHCセミナーⅠでは、「基本的な障がいの理解、下肢に障がいをもちチェアスキーやバイスキーなどの用具を用い滑る方についてのサポート法」の座学と必要なサポートの仕方や用具の理解を学び、1月のHCセミナーⅡでは実際に雪上でチェアスキーやバイスキーを用いて、使用方法・サポート法・指導法を学びました。（講師：プレジャーサポート協会・日本チェアスキー協会）1月の五竜スキー教室では総勢57名（参加者20名、ボランティア・役員他37名）を無事終了することが出来ました。皆さまのご協力にあらためて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

今年度につきましては、新型コロナ感染拡大に対する、治療薬・ワクチン等の開発状況の不透明さを鑑み、免疫力弱者に対する感染防止対策の困難さを考慮し、セミナー、スキー教室については、断腸の思いではありますが、参加者全体の健康の安全を第一とし、主催県連としましては、責任を全うすることが困難との判断により、中止を決定致しました。

尚 2021年4月開催予定の野沢CCⅡにつきましては、コロナ感染拡大の沈静化状況を確認し、競技本部と検討し2021年2月に参加可否を決定致します。

来年度以降、コロナ感染拡大が沈静化致しましたら、活動を再開致しますので、さらなるご協力・ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

（公財）神奈川県スキー連盟
ハンディキャップ委員会